

(2) 平面図

①平面計画

建築計画

- ・遊び場は、子供たちがのびのびと体を動かし、多様な遊びを展開できる場として、小学校の体育館程度となる約600㎡(20mx30m)を確保する
- ・遊び場は、児童向けの「里山スペース」と「里海スペース」で構成し、年齢に応じて安心して利用できる環境を整える
- ・子供に加え一般市民も利用可能なワークスタジオを設け、多世代が交流できる地域活動拠点としての機能を持たせる
- ・ワークスタジオは、セミナー、会議、イベント等の多様な利用に対応するとともに日常的には中学生、高校生の学習やグループ活動の場として活用できる、可変性、柔軟性の高い空間とする。
- ・ホール及びロビーは、遊び場前とワークスタジオ前にそれぞれ配置し、用途ごとに利用しやすく、自然な動線が形成される計画とする。
- ・乳幼児を連れた利用者にも配慮し、授乳室及びおむつ交換スペースを整備する等、ユニバーサルデザインの観点から利用環境の充実を図る。
- ・災害時において、地域の防災拠点としての役割を担うため、自家発電設備や備蓄庫を設置する等、災害対応能力の高い施設計画とする。

●事務室等

事務室・医務・倉庫等の管理諸室を集約配置し、遊び場の見通しを確保できる位置関係とすることで、スタッフが子供の状況を常時把握しやすく、日常の運営管理および緊急時にも迅速に対応できる計画とする。

●ロッカースペース

遊び場および共用部に近接して配置し、荷物管理がしやすい動線計画とする。利用前後の行動がスムーズになるよう、分かりやすく開放的な構成とする。

●ホール・ロビー

遊び場前とワークスタジオ前にそれぞれ配置し、用途に応じた動線を明確化する。滞留や待合にも対応する、施設の中心となる共用空間とする。

●コロネード

外部と内部をゆるやかにつなぐ半屋外空間として、滞留や回遊を促すコロネードを設ける。外部からの自然光をやわらかく建物内部へ導き、アプローチ空間に明るさと開放感を与える計画とする。

○ゾーニング色分け

- 遊び場空間(20mx30m)
- 共用部分(ホール・ロビー、ワークスタジオ)
- 共用部分(WC等)
- 管理部分(事務所等)
- 備蓄倉庫

←施設利用者の動線を示す

←施設管理者の動線を示す



●屋外機械置場

屋外に機械置場を計画し、内部空間を有効に活用する配置とする。自家発電用設備等の災害対応設備を設けることで、非常時にも施設機能を継続できるよう、防災拠点としての災害対応能力を高めた計画とする。

●見守りラウンジ

あそび場に隣接して配置し、大人が滞在しながら子供の様子を自然に見守れるラウンジ空間とする。視線のつながりを確保することで、安全性と安心感を高める。休憩や軽飲食にも対応可能な居場所として計画する。

●遊び場空間

約600㎡の大空間を確保し、身体を使った多様な遊びに対応する計画とする。年齢に配慮したゾーニングにより、安全性と見通しの良さを確保した計画とする。

●備蓄倉庫

管理ゾーンに隣接して配置し、災害時に迅速に物資を搬出できる計画とする。平常時の管理性と防災拠点としての機能性を両立させる計画とする。

●授乳室、おむつ交換室等

ホール・ロビー近接に配置し、乳幼児連れでも利用しやすい動線とする。多目的WC、男女WCと合わせ、ユニバーサルデザインに配慮した計画とする。

●ワークスタジオ

ホール・ロビーと連続した配置とし、多世代が利用できる交流空間とする。可変性の高い平面計画により、多様な用途に柔軟に対応する計画とする。

●受付(ホール・ロビー)

受付を起点に、ワークスタジオおよびあそび場へ直感的に移動できる明快な動線計画とする。



～ホール・ロビーからのイメージ～

平面図 1/300